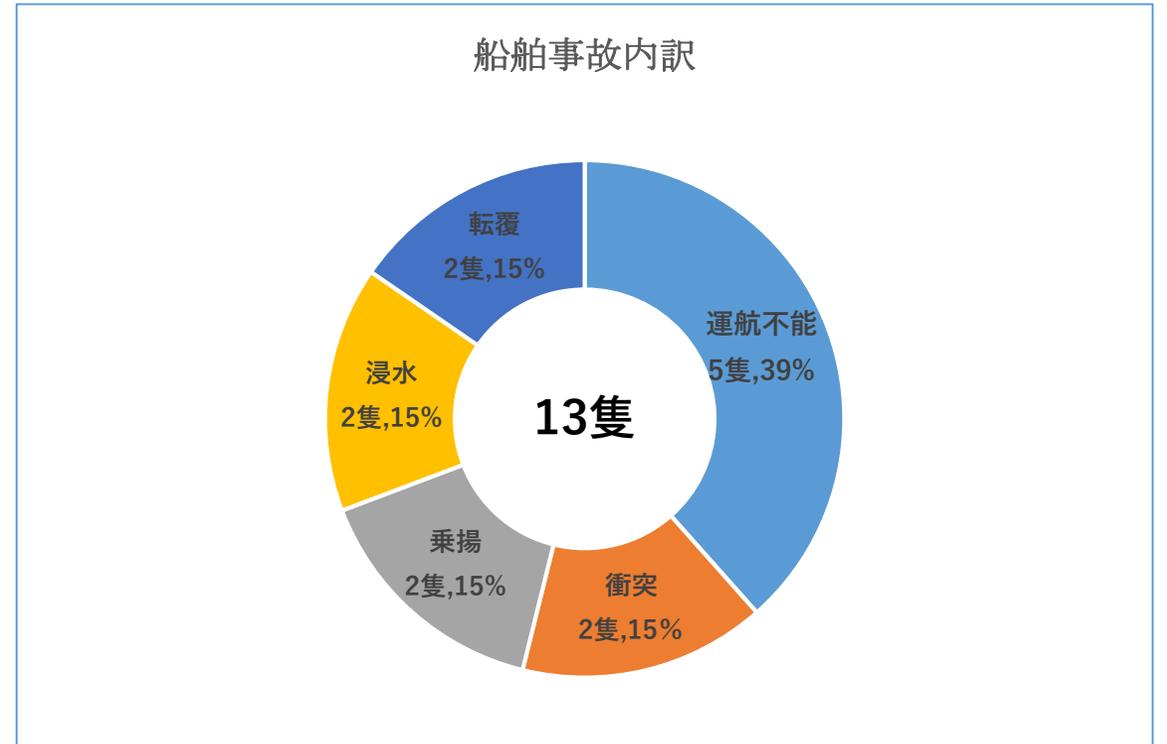
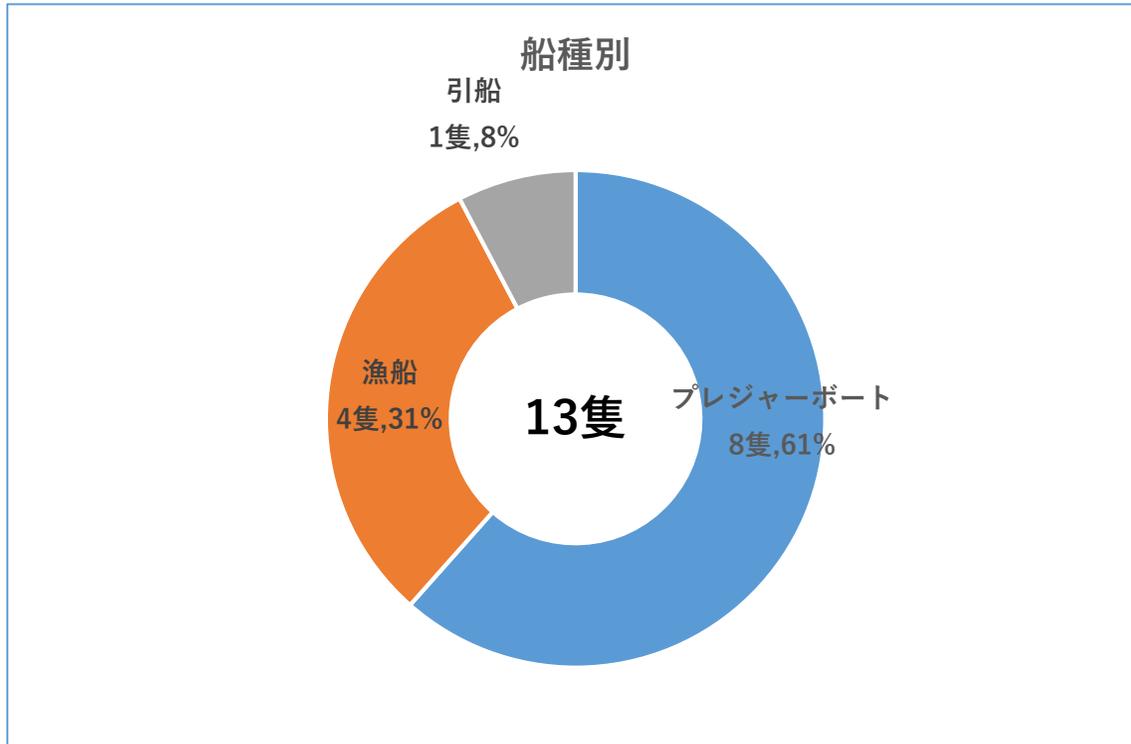


令和5年 銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故分析

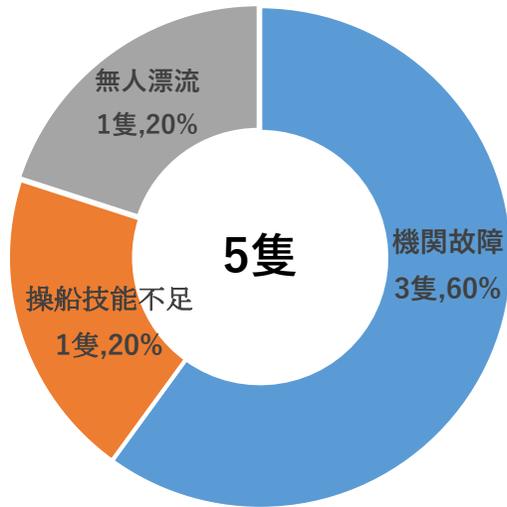


令和5年における銚子海上保安部（勝浦海上保安署管轄内含む）管内の船舶海難事故は13隻で、船種は、プレジャーボート（8隻：61%）、漁船（4隻：31%）、引船（1隻：8%）の順で発生している。

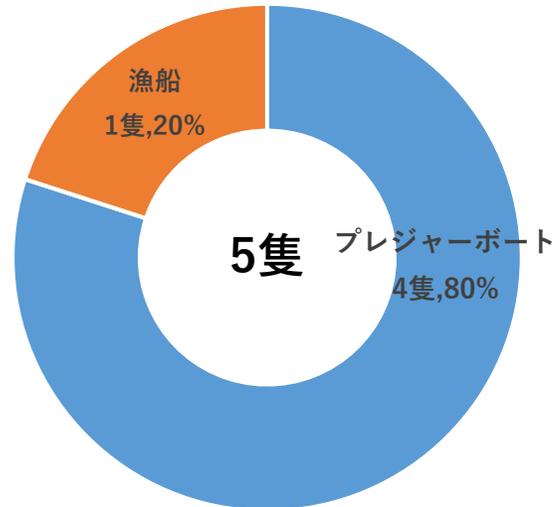
事故内訳は、運航不能（5隻：39%）、衝突・乗揚・浸水・転覆（各2隻：各15%）となっている。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（運航不能）

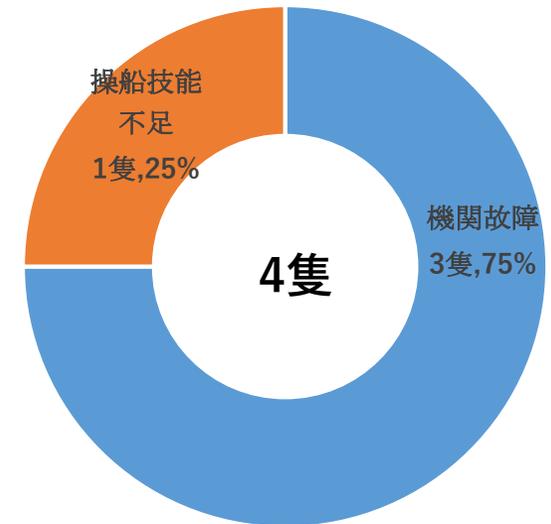
運航不能内訳



運航不能：船種



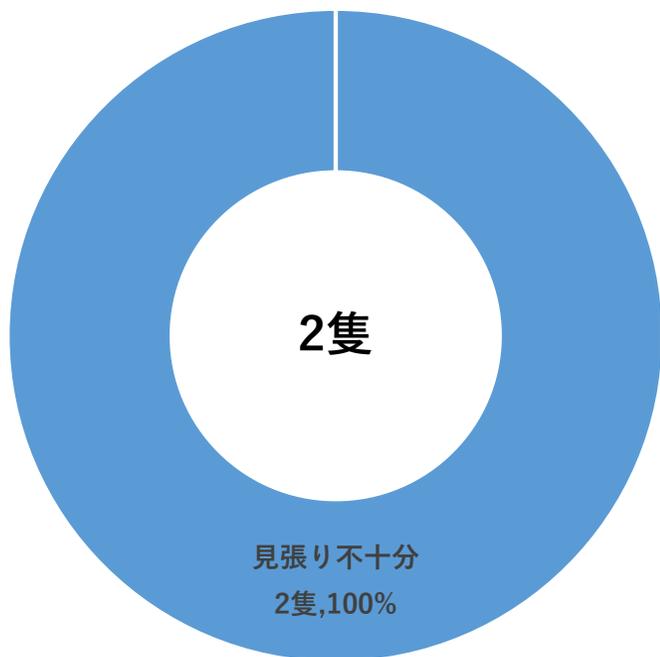
運航不能：プレジャーボート



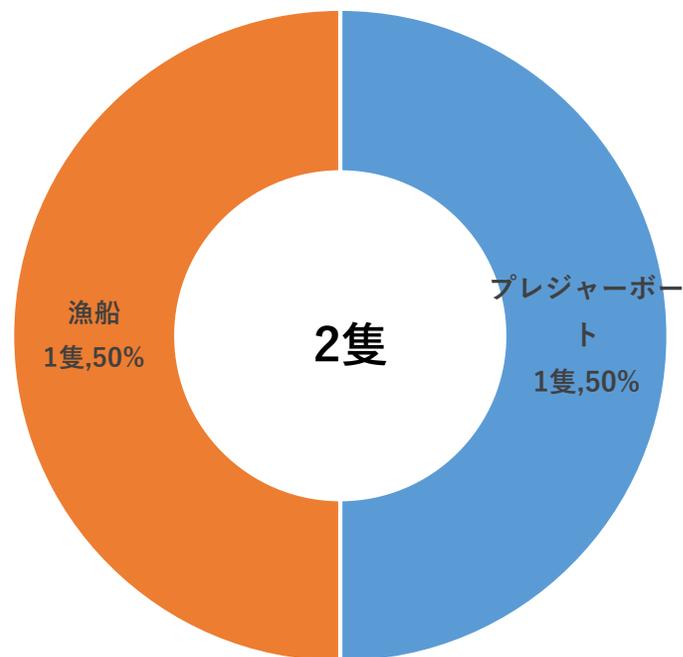
運航不能の原因は、機関故障（3隻：60%）が多く、続いて操船技能不足・無人漂流（各1隻：各20%）となっている。運航不能を起こした船種は、プレジャーボート（4隻：80%）が最も多く、また、機関故障による運航不能は全てプレジャーボートによるものであるため、発航前点検や機関の定期整備の対策をより一層推進する必要がある。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（衝突）

衝突内訳



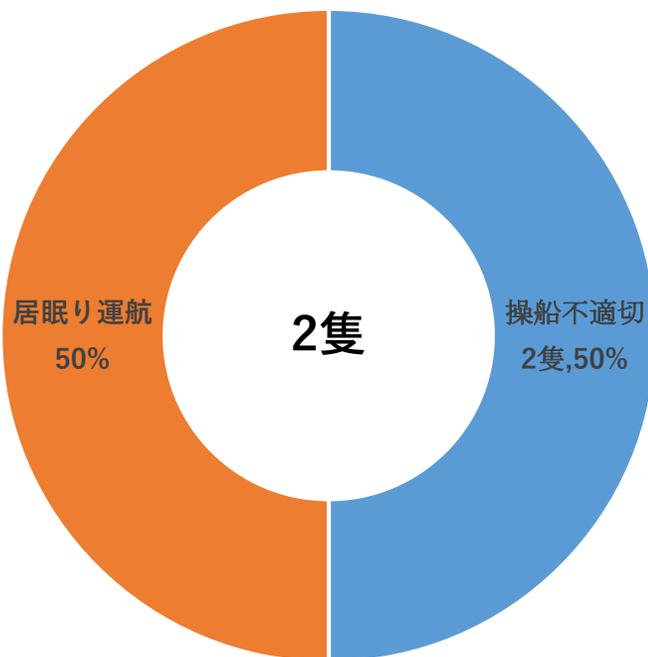
衝突：船種



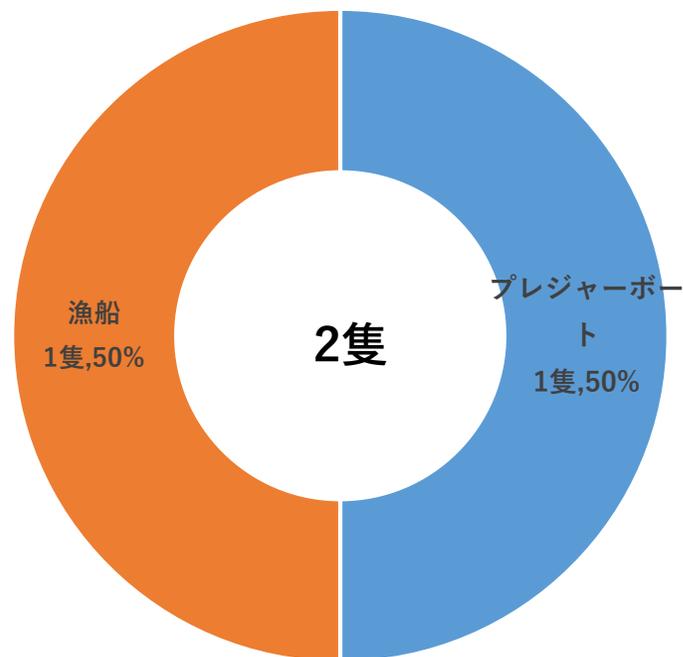
衝突原因は、全て見張り不十分（2隻：100%）で、船種は、プレジャーボート・漁船（各1隻：各50%）となっている。管内においては、プレジャーボートや漁船等の比較的小型な船舶による衝突事故が発生しやすい傾向にある。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（乗揚）

乗揚内訳



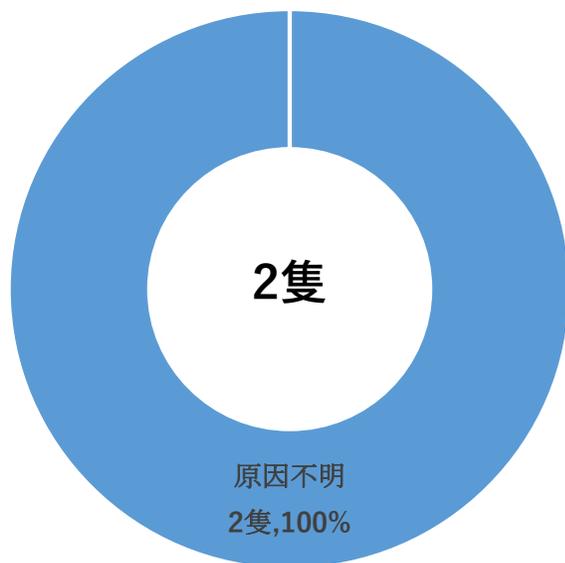
乗揚：船種



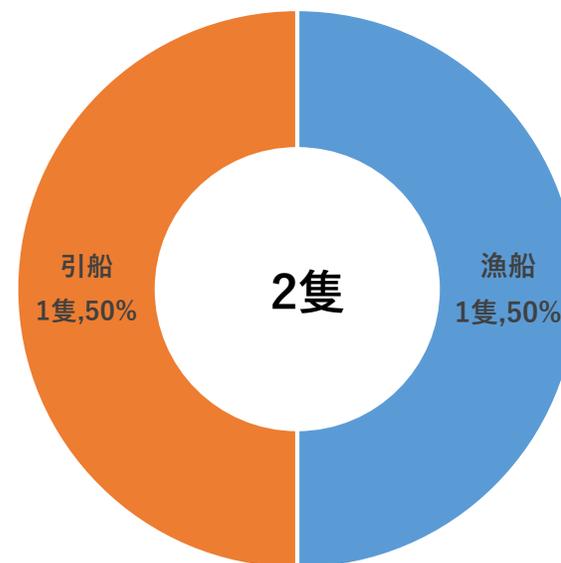
乗揚原因は、操船不適切・居眠り運航（各1隻：各50%）となっている。船種は、プレジャーボート・漁船（各1隻：各50%）となっている。衝突と同様、プレジャーボートや漁船等の比較的小型な船舶による事故が発生しやすい傾向にある。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（浸水）

浸水内訳



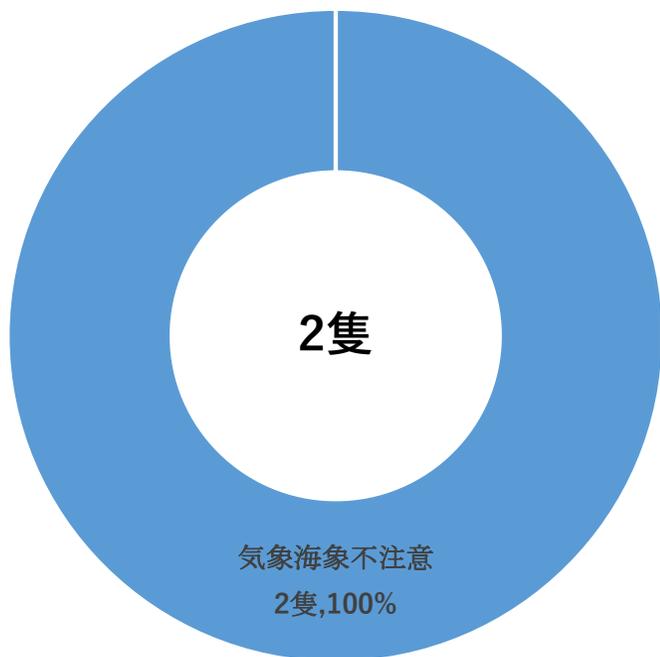
浸水：船種



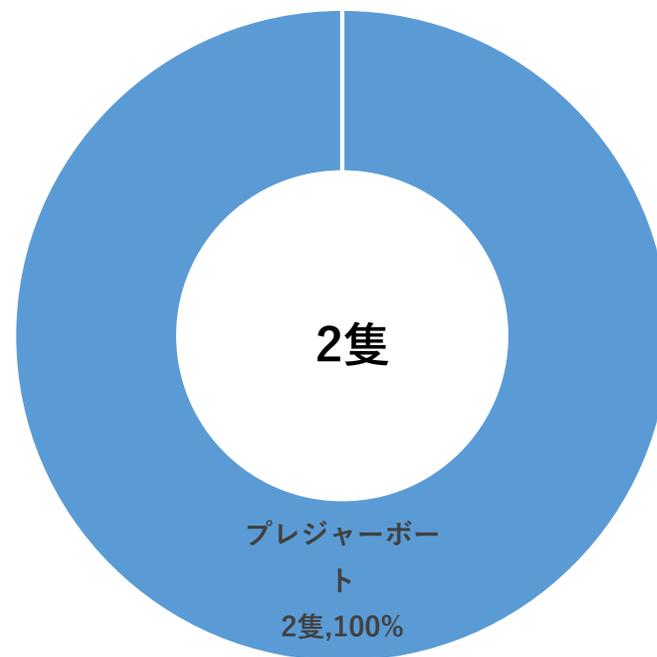
浸水原因は、調査の結果原因不明であった。船種は、漁船・引船（各1隻：各50%）となっている。管内における浸水事故の原因は不明であったが、事故を防止するため定期的な船体整備の実施及び事故発生時に備えた自己救命策・通報手段の確保（防水ケース付携帯電話・無線等）が重要である。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（転覆）

転覆内訳

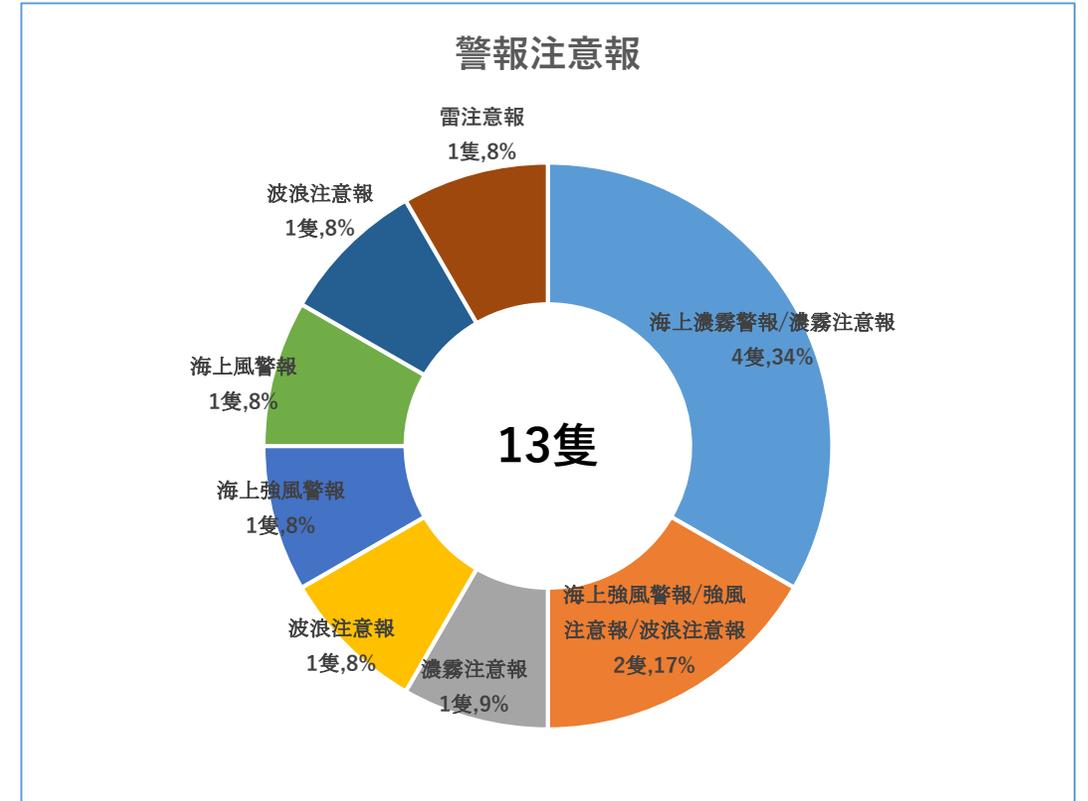
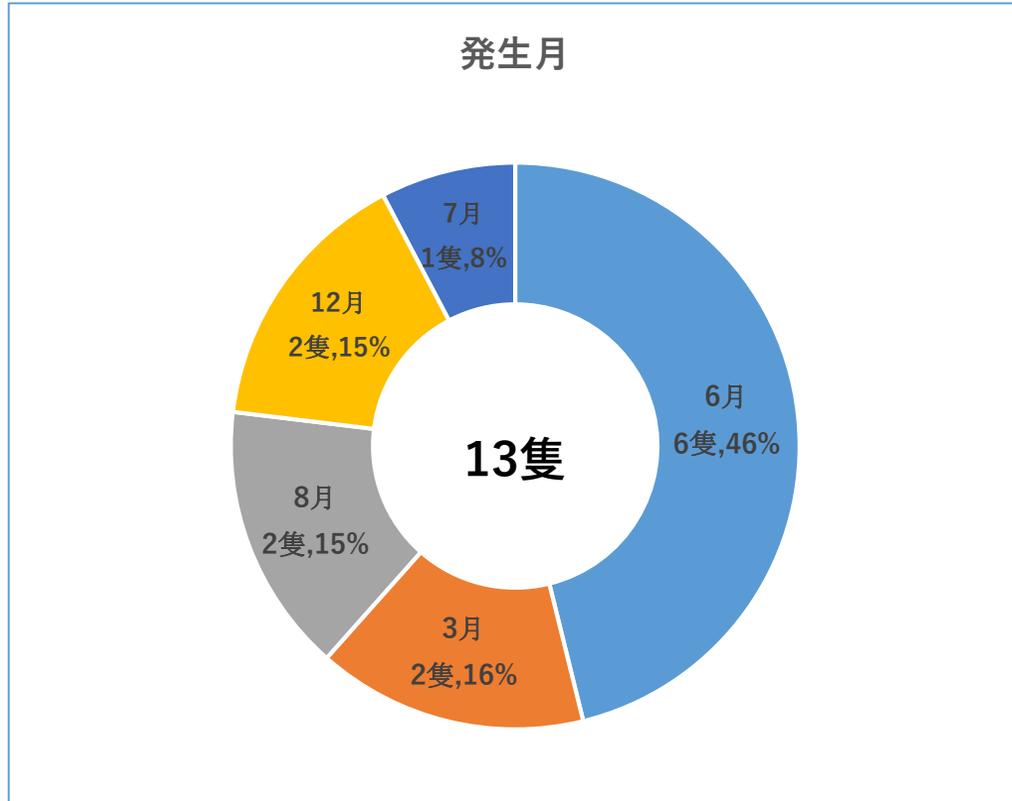


転覆：船種



転覆原因は、全て気象海象不注意となっており、船種は全てプレジャーボートであった。荒天時、プレジャーボート等の比較的小型な船舶による転覆事故が発生しやすい傾向にある。

令和5年銚子海上保安部（勝浦海上保安署含む）管内における船舶海難事故（月、警報）



船舶海難の発生月は、6月（6隻：46%）に多く発生している。
海上警報/注意報の状況は、海上濃霧警報・濃霧注意報発令時（4隻：34%）に多く発生している。

船に乗る前・中・後などの時の注意事項

船に乗る前

- ・定期的な点検整備、発航前の点検を実施してください。
- ・事前に気象情報、天気予報等を収集し、荒天時には出港を見合わせてください。
- ・救命胴衣、携帯電話等の自己救命策・通報手段を確実に用意してください。

船に乗っている時

- ・他の船に注意を払い、見張りを確実に継続してください。
- ・救命胴衣を着用し、海中転落に備えてください。
- ・自船の位置を把握し、浅瀬に接近しすぎないように注意してください。

船に乗り終わった後

- ・無事故航行お疲れ様でした。
- ・船体、機関や係留策等に異状がないか確認してください。
- ・家に帰るまでが航海です。最後まで油断せず気を付けて帰りましょう。